



来年も図書館で
会いましょう!

令和6年(2024年)12月
宇部市立原小学校 学校図書館

12月も残り少なくなりました。昔は新しい年を迎える準備を始める日が12月13日だと決まっています。その日は「正月事始め」と呼ばれていたそうです。身の回りの掃除や整理整頓などをして、新しい年を迎える準備をしましょう。長い間借りている本はありませんか。ぜひ、冬休みの間にじっくりと本を読んでほしいと思います。

「図書クイズ」で正解率の高かったクラスを紹介します

結果発表

低学年の部 1位 2年1組

中学年の部 1位 4年2組

高学年の部 1位 5年2組

上記のクラスには図書委員が賞状を渡しました。4年生は2組が正解率100%、1組が95%で高い正解率でした。



2学期に貸し出しが多かった作家さんをご紹介します。

低学年、中学年ともに『ぐるーぷ・アンモナイト』さんでした。『ぐるーぷ・アンモナイト』さんとは、「ほねほねザウルス」の作者・絵師のユニット名です。新作がいつでるのか聞きに来る人が多いです。全校で一番人気の作家さんです。

高学年は『^{ひろしまれいこ}廣嶋玲子』さんでした。『廣嶋玲子』さんは、児童文学作家、ファンタジー作家で、原小学校では「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」「鬼遊び」「十年屋」シリーズがあります。男女問わず人気です。特に「鬼遊び」は予約待ちになることがよくあります。



2学期の貸し出し冊数は・・・

2学期の貸し出し冊数は全校の貸し出し冊数は4034冊(8/26から12/16まで)です。

2学期だけで50冊以上借りた人が3人います。たくさん借りてくれてありがとうございました。



たにかわしゅんたるう
今日は谷川俊太郎さんの詩を紹介します。

としよかんへ行こう
谷川 俊太郎
本は手でさわられるけれど、
本に書いている
なみは手でさわれない。
私たちはそれに
心でさわるんだ。
本を読んでいると、
心がどんとん
大きくなる、深くなる。
あなたは見たこともない
国へ行けるし、
青空のおくの遠くの星へも行ける。
新しい友だちもできるし、
自分が王子や王女に
なることだってできる。
しかもえいがや
ファミコンとちがって、
としよかんでは
それがみんなタダなんだ。
としよかんへ行く。
べんきょうしに行くこともあるが、
本のせかいであそぼうと思って
行くことのほうが多い。
本といっしょだと、
ひとりでもあそべるんだよ。
じぶんのまちに
「こどもとしよかん」が
あるなんて
ほんとうにうらやましいな。
高知こどもの図書館の開館を記念
して贈られた詩で、館内には額に入っ
た毛筆の字で掲げられています。

谷川俊太郎さんが11月13日、92歳で亡くなりました。2年生の国語の教科書に載っている「スイミー」(レオ・レオニ作)の翻訳をされた方で、詩人、絵本作家、翻訳家、脚本家といろいろとご活躍されていました。また、「鉄腕アトム」「ハウルの動く城」といったアニメの主題歌の歌詞も手掛けられました。原小学校にも谷川さんが翻訳された本や絵本などがたくさんあります。冬休み、ぜひ、谷川さんの本に触れて見られませんか。

お話し まちがい探し

『もみの木』

森で立派に育ったもみの木。クリスマスツリーの役目が終わり、屋根裏でネズミたちと言葉をかわしています。

下の2枚のイラストには5つのまちがいがあります。いくつ見つけられるかな？



まちがい探しの答え 『もみの木』



- ①くもの巣 ②ネズミ ③飾り ④えだ ⑤しっぽ

〈今回の激ムズポイント〉

正

誤



すべて答えられたかな？

日本・世界のお話カード

夢ばかりみている
もみの木の運命は

『もみの木』

アンデルセン 童話

森のなかにあるいつぼんのちいさなもみの木。暖かい太陽の光にも、気持ちの良い風にも見向きもせず、早く大きくなつて外の世界に出たいと願っていました。

立派に大きくなったある日、もみの木は切り出され、ごうかな家に運びこまれると、そのなかで、すっかりかれてしまったもみの木は、庭に運ばれまきになり、火に包まれて、音を立て、燃えていきました。

※このお話は、KADOKAWA やアノニマ・スタジオなどから出ています。